

0.1 スライド調整のモジュール

以下に、モジュールの仕様概要と操作手順を示す。

表.1 モジュールの仕様概要

No	項目		内容
1	DLL 名		McAdjustSlide.DLL
2	概要		スライド調整 ($x + \alpha$) する。
3	送受信のパターン	受信	①水位 伝送仕様：1次元時系列 セル内変数：WATER_LEVEL (m) ②流量 伝送仕様：1次元時系列 セル内変数：QUANTITY_OF_WATER_FLOW (m ³ /s)
		送信	①水位 伝送仕様：1次元時系列 セル内変数：WATER_LEVEL (m) ②流量 伝送仕様：1次元時系列 セル内変数：QUANTITY_OF_WATER_FLOW (m ³ /s)
4	接続方法	受信	<ul style="list-style-type: none"> 要素接続は、1次元時系列で行い、入力値を入力する。 上記以外の接続は、できません。
		送信	<ul style="list-style-type: none"> 要素接続は、1次元時系列で行い、出力値が出力される。 上記以外の接続は、できません。 受信側で水位が選択されている場合、送信側には流量を選択する。 受信側で流量が選択されている場合、送信側には水位を選択する。
5	基礎式		$A_{out} = \alpha + A_{in}$ <p> A_{out} : 出力水位(mm) / 流量(m³/s) A_{in} : 入力水位(mm) / 流量(m³/s) α : スライド量 </p>
6	備考		
7	サンプルプロジェクト		<ul style="list-style-type: none"> スライド調整のモジュール(水位). prjdb (水位データのサンプル) スライド調整のモジュール(流量). prjdb (流量データのサンプル)

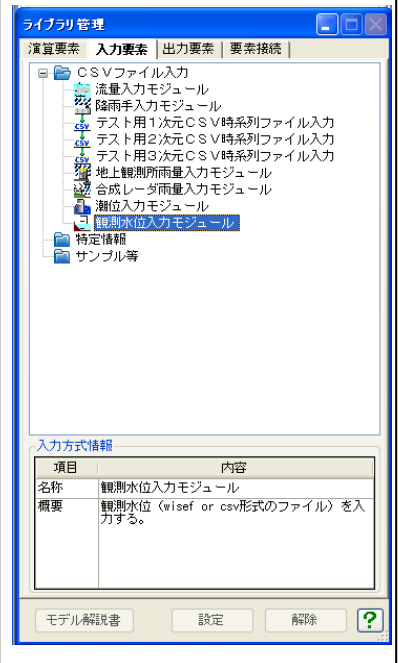
(1) 水位出力パターンの場合

1) モデル接続

モデルの接続方法を、以下に示す。

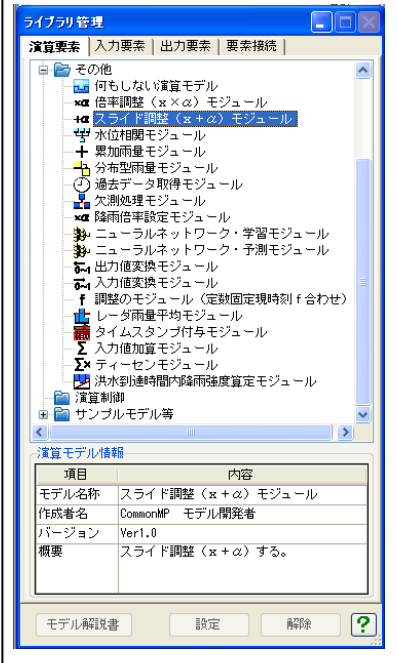
①要素の配置を行い、下図に示すモジュールを設定する。

カテゴリーが入力要素の観測水位入力モジュールを設定



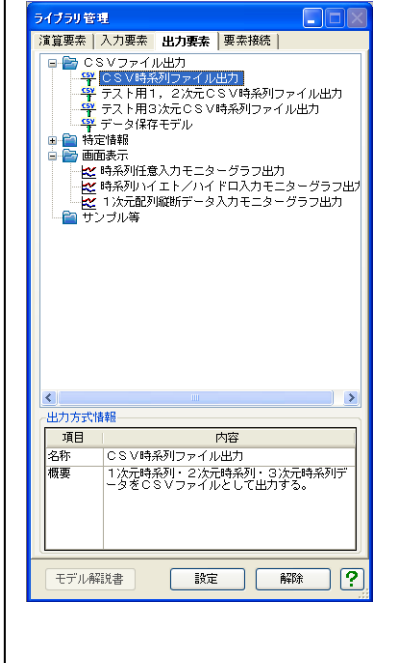
項目	内容
名称	観測水位入力モジュール
概要	観測水位 (wisef or csv形式のファイル) を入力する。

カテゴリーが演算要素のスライド調整 ($x + \alpha$) モジュールを設定




項目	内容
モデル名称	スライド調整 ($x + \alpha$) モジュール
作成者名	CommonMP モデル開発者
バージョン	Ver1.0
概要	スライド調整 ($x + \alpha$) する。

カテゴリーが出力要素の CSV 時系列ファイル出力モデルを設定



項目	内容
名称	CSV時系列ファイル出力
概要	1次元時系列・2次元時系列・3次元時系列データをCSVファイルとして出力する。

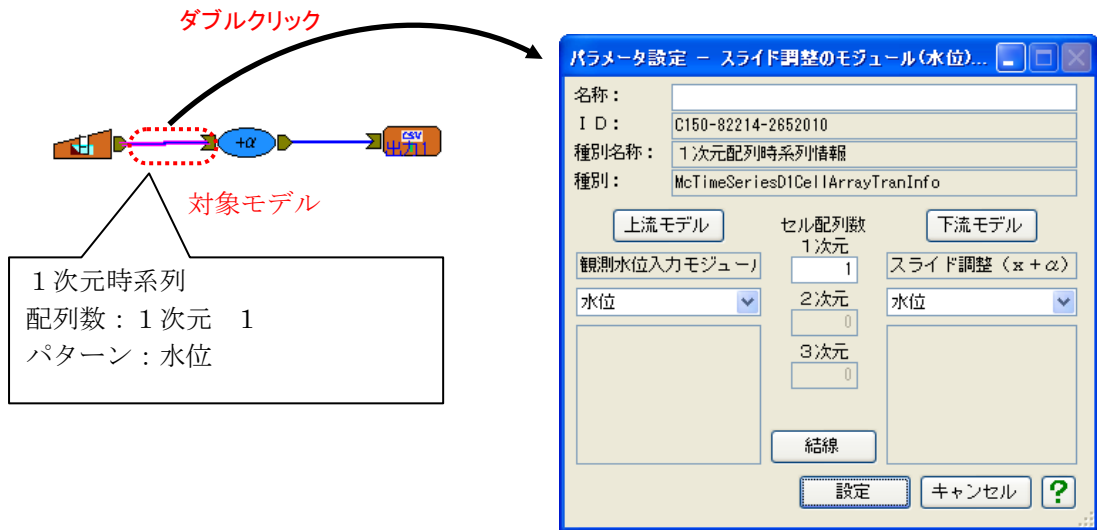


対象モデル

図.1 モデル接続

②要素接続は、以下の通り設定する。

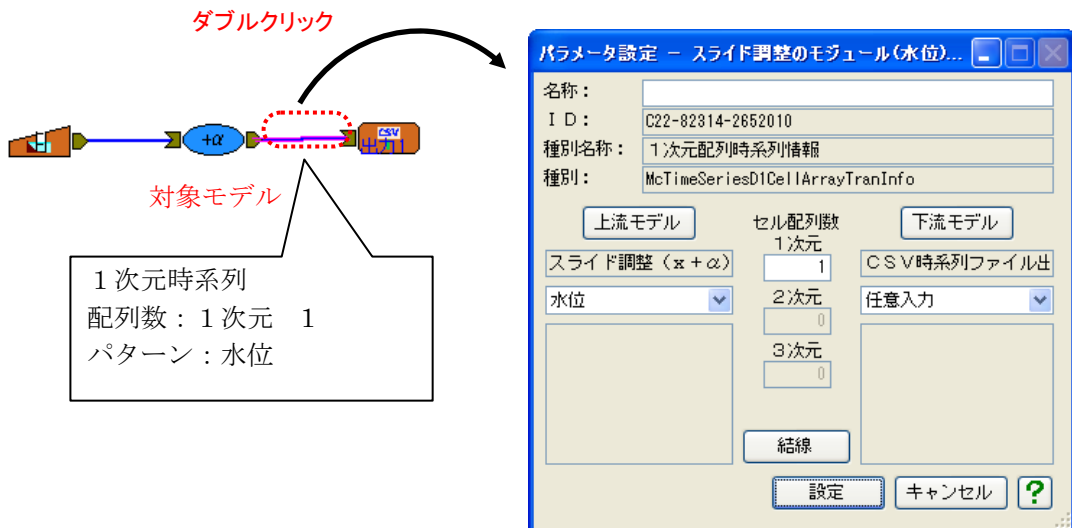
【受信側】



※本画面は要素接続時にダブルクリック、または右クリックメニューから表示を行う

図.2 要素接続（受信側）

【送信側】



※本画面は要素接続時にダブルクリック、または右クリックメニューから表示を行う

図.3 要素接続（送信側）

2) パラメータ設定画面

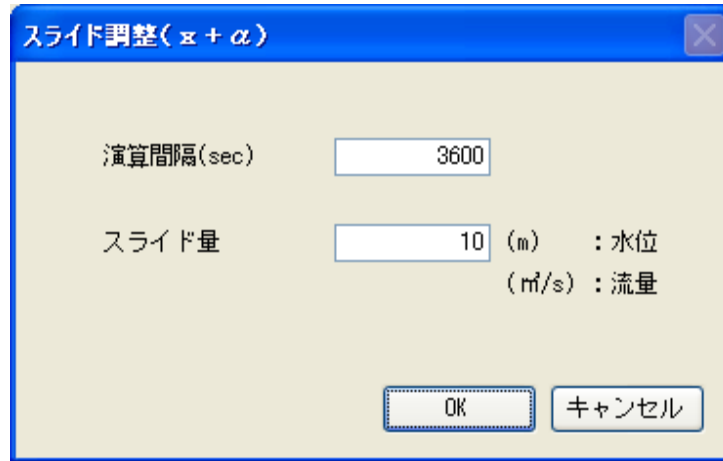


図.4 個別 GUI レイアウト図 (スライド調整のモジュール)

3) 入力データ

1次元時系列の水位データを入力する。

時間	0
yyyy/MM/dd HH:mm:ss	<input type="text" value="水位"/>
yyyy/MM/dd HH:mm:ss	<input type="text" value=":"/>
yyyy/MM/dd HH:mm:ss	<input type="text" value=":"/>
:	:
:	:

図.5 入力データフォーマット

4) 出力データ

1次元時系列の水位データが出力される。

時間	0
yyyy/MM/dd HH:mm:ss	<input type="text" value="水位"/>
yyyy/MM/dd HH:mm:ss	<input type="text" value=":"/>
yyyy/MM/dd HH:mm:ss	<input type="text" value=":"/>
:	:
:	:

図.6 伝送データイメージ

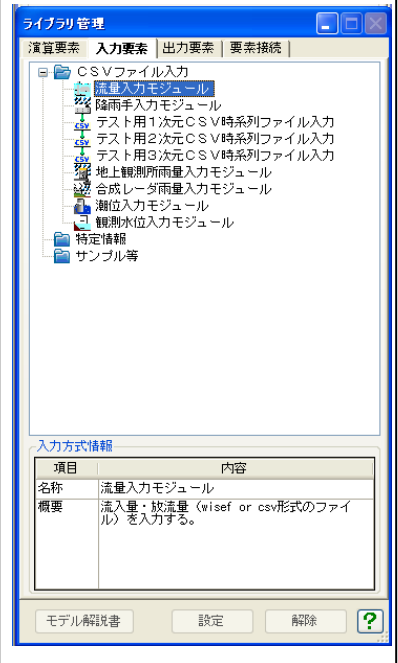
(2) 流量出力パターンの場合

1) モデル接続

モデルの接続方法を、以下に示す。

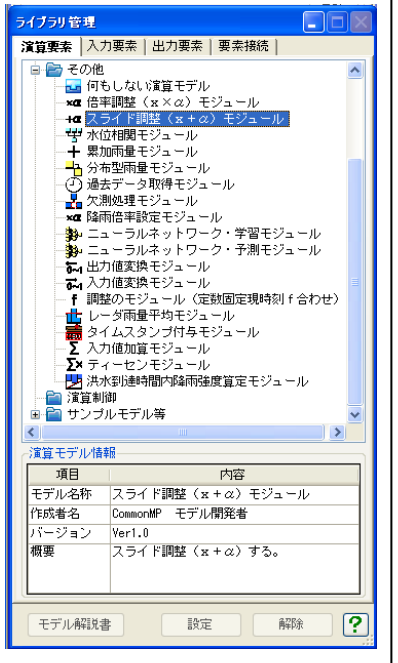
①要素の配置を行い、下図に示すモジュールを設定する。

カテゴリーが入力要素の流量入力モジュールを設定



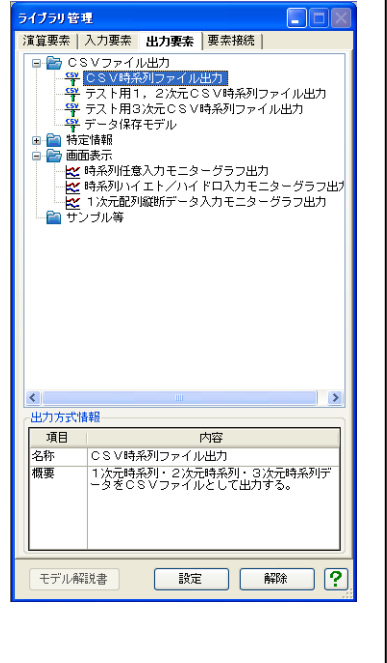
項目	内容
名称	流量入力モジュール
概要	流入量・放流量 (wisef or csv形式のファイル) を入力する。

カテゴリーが演算要素のスライド調整 ($x + \alpha$) モジュールを設定

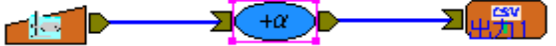


項目	内容
モデル名称	スライド調整 ($x + \alpha$) モジュール
作成者名	CommonMP モデル開発者
バージョン	Ver1.0
概要	スライド調整 ($x + \alpha$) する。

カテゴリーが出力要素の CSV 時系列ファイル出力モデルを設定



項目	内容
名称	CSV時系列ファイル出力
概要	1次元時系列・2次元時系列・3次元時系列データをCSVファイルとして出力する。

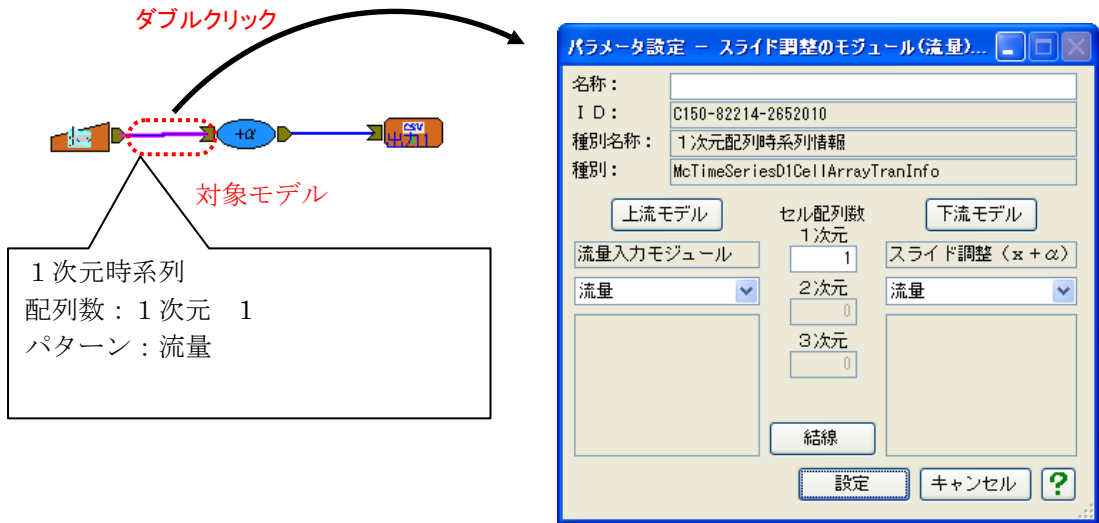


対象モデル

図.7 モデル接続

②要素接続は、以下の通り設定する。

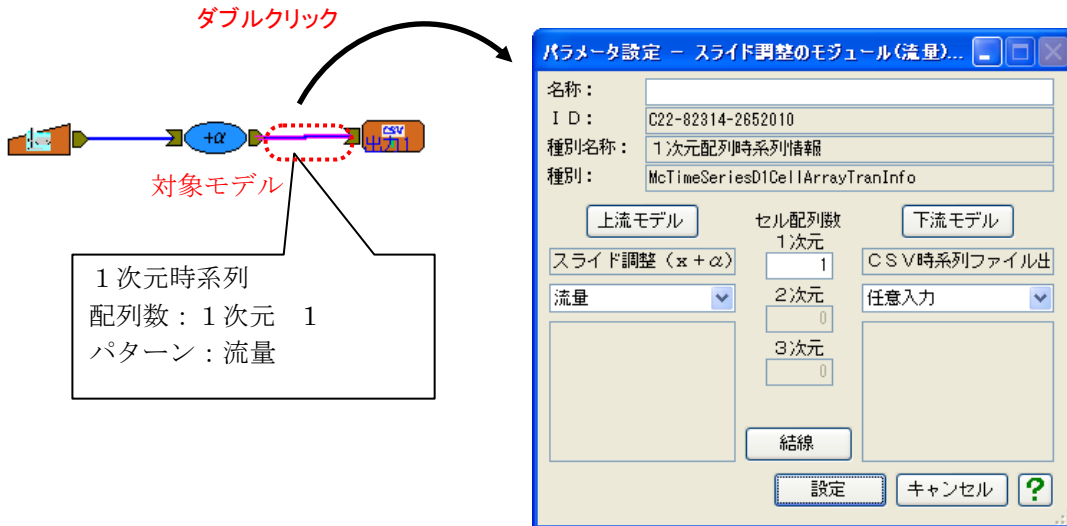
【受信側】



※本画面は要素接続時にダブルクリック、または右クリックメニューから表示を行う

図.8 要素接続（受信側）

【送信側】



※本画面は要素接続時にダブルクリック、または右クリックメニューから表示を行う

図.9 要素接続（送信側）

2) パラメータ設定画面

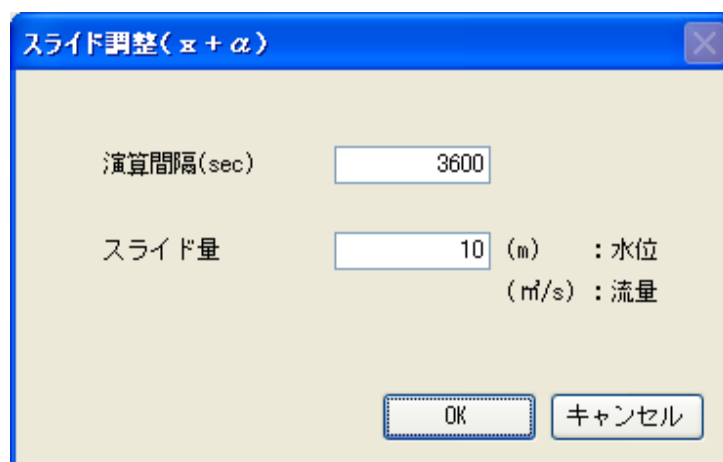


図.10 個別 GUI レイアウト図 (スライド調整のモジュール)

3) 入力データ

1次元時系列の流量データを入力する。

時間	0
yyyy/MM/dd HH:mm:ss	<input type="text" value="流量"/>
yyyy/MM/dd HH:mm:ss	<input type="text" value=":"/>
yyyy/MM/dd HH:mm:ss	<input type="text" value=":"/>
:	:
:	:

図.11 入力データフォーマット

4) 出力データ

1次元時系列の流量データが出力される。

時間	0
yyyy/MM/dd HH:mm:ss	<input type="text" value="流量"/>
yyyy/MM/dd HH:mm:ss	<input type="text" value=":"/>
yyyy/MM/dd HH:mm:ss	<input type="text" value=":"/>
:	:
:	:

図.12 伝送データイメージ